平成26年度　全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技
第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

InterHighSchool 2014 in Chiba　03C2

(男) 2 回戦

試 合 日： 2014/08/03
開始時刻： 11:40~
会　　場： 船橋市総合体育館
コ ー ト： Cコート
試 合 順： 第2試合(男) 2 回戦

Team A			Team B
洛　南	90	24 — 14 19 — 14 21 — 20 26 — 26 —	74	大阪桐蔭
(京都府)			(大阪府)

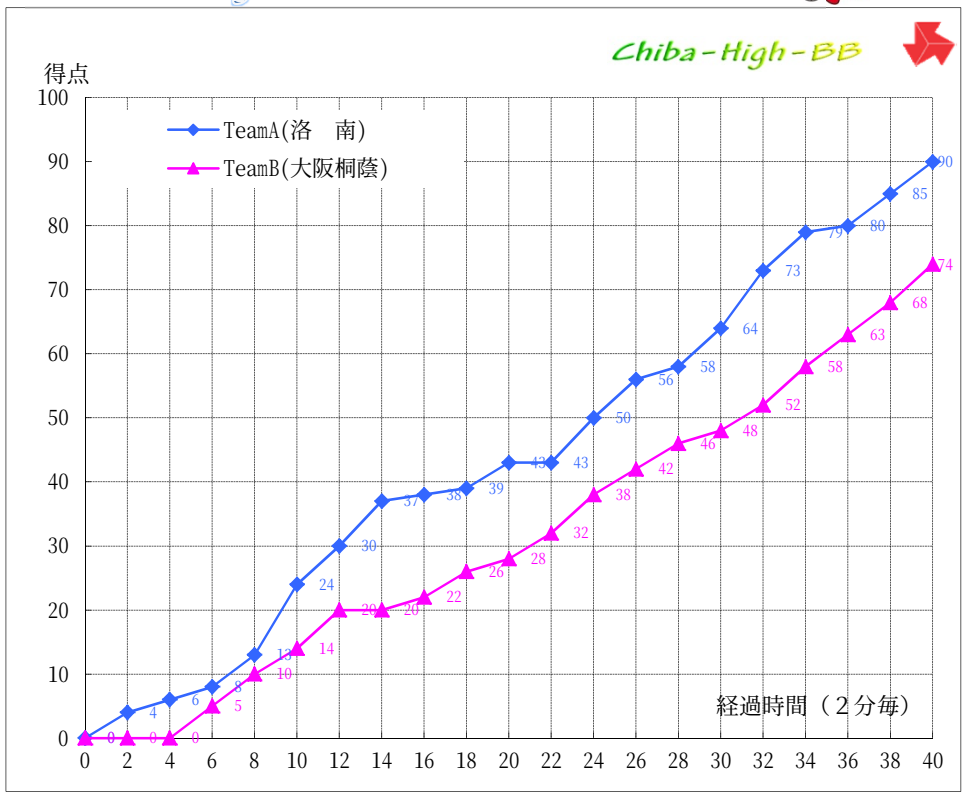
TeamA(洛　南)

№	PT	選　手　名	得点	3ﾎﾟｲﾝﾄ 成	2ﾎﾟｲﾝﾄ 成	ﾌﾘｽﾛｰ 成	反則	ﾘﾊﾞｳﾝﾄﾞ off	def	計	ｱｼｽﾄ	ﾌﾞﾛｯｸｼｮｯﾄ	ﾀｰﾝｵｰﾊﾞｰ
4	◎	村井　大陸	9	1	1	4	0	0	2	2	3	0	5
5	◎	菅　祐史	7	0	2	3	2	0	1	1	0	0	2
6	○	富田　頼	12	0	6	0	1	2	3	5	2	2	1
7	◎	澤田　絢以	5	0	2	1	1	1	4	5	0	1	0
8	◎	岡田　卓也	5	0	2	1	1	2	3	5	2	0	1
9	○	髙田　颯斗	4	0	1	2	0	1	0	1	4	0	2
10	○	下田　忠至	2	0	0	2	0	0	1	1	1	0	0
11	○	寺嶋　良	13	0	5	3	0	3	2	5	2	0	0
12	○	荒川　颯	14	0	7	0	0	3	1	4	1	0	1
13	◎	田邉　陸也	17	0	7	3	2	5	4	9	3	1	1
14	○	鈴木　悠介	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
15	○	津屋　一球	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	1	5	6			2
合　計			90	1	34	19	7	18	26	44	19	4	13

TeamB(大阪桐蔭)

№	PT	選　手　名	得点	3ﾎﾟｲﾝﾄ 成	2ﾎﾟｲﾝﾄ 成	ﾌﾘｽﾛｰ 成	反則	ﾘﾊﾞｳﾝﾄﾞ off	def	計	ｱｼｽﾄ	ﾌﾞﾛｯｸｼｮｯﾄ	ﾀｰﾝｵｰﾊﾞｰ
4	○	石野　渉生	0	0	0	0	4	2	1	3	1	0	2
5	-	野見　悠人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	◎	本田　大樹	13	1	5	0	2	3	1	4	0	0	0
7	◎	武田　亘永	14	0	6	2	5	0	3	3	0	0	1
8	◎	今川　友哲	6	0	3	0	4	3	2	5	8	1	10
9	◎	平野　智也	27	7	3	0	0	0	2	2	2	0	2
10	○	福田　海	4	0	2	0	3	1	0	1	1	0	0
11	○	西村　勇樹	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
12	-	谷　翔也	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	-	小坂　旋夏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	◎	大町　佑介	10	0	5	0	3	6	4	10	0	0	1
15	-	北條　伶茉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	7	8	15			2
合　計			74	8	24	2	22	22	21	43	12	1	17

TO/CK/SS 千葉県高体連バスケットボール専門部所属高校バスケットボール部



タイムアウト	前半(1･2ﾋﾟﾘｵﾄﾞ)		後半(3･4)ﾋﾟﾘｵﾄﾞ			延１	延２	延３	延４
TeamA	-	-	27:13	-	-				
TeamB	3:14	14:21	25:38	35:27	-				

【戦評】

第１Ｐ、洛南はハーフコートマンツーマン、大阪桐蔭は２－１－２ゾーンプレスでゲーム開始。序盤、硬さの見られる大阪桐蔭に対し、洛南はインサイドや速攻でシュートを決める。また、ファウルで得たフリースローをしっかりと決め、点差を徐々に離していく。第２Ｐ、大阪桐蔭はディフェンスを３－２ゾーンに変える。序盤は大阪桐蔭＃９の３ｐが２本連続で決まりリズムをつかみかけるが、洛南は厳しいディフェンスからの速攻で着実に得点を重ね，４３対２８とリードして前半を終えた。

第３Ｐ、追い上げたい大阪桐蔭はディフェンスを２－１－２ゾーンプレスからの２－３ゾーンとし、反撃を試みる。洛南が＃６、＃１３を中心にインサイドを攻めると、大阪桐蔭も＃８、＃１４がインサイドでシュートを決めて、互いに点を取り合う展開となった。第４Ｐ、洛南が第３Ｐに引き続きインサイドを中心に攻める一方、大阪桐蔭の速攻が連続で決まる。しかし、大阪桐蔭はアウトサイドのシュートが決めきれず、ゲームの流れを握ることができなかった。終盤には大阪桐蔭＃６、＃９の３ｐが決まり応戦するが、洛南は冷静に得点を重ねて点差を縮めさせず、９０対７４で勝利を収めた。

審判	大庭　英裕　/　梶　崇司　/	戦評	樋口　智則

千葉県高体連バスケットボール専門部